



平成28年4月7日

各 位

上場会社名 ツインバード工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 野水 重明
 (コード番号 6897)
 問合せ先責任者 経営企画本部長 小林 和則
 (TEL 0256-92-6111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年4月14日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,500	880	780	430	49.29
今回修正予想(B)	13,611	589	410	330	37.93
増減額(B-A)	△888	△290	△369	△99	
増減率(%)	△6.1	△33.0	△47.3	△23.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	13,357	216	523	338	38.83

平成28年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	850	750	400	45.85
今回修正予想(B)	13,512	631	451	300	34.49
増減額(B-A)	△487	△218	△298	△99	
増減率(%)	△3.5	△25.7	△39.8	△24.8	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	13,197	179	486	302	34.66

修正の理由

売上高については、法人チャネルにおける大型OEM製品の受注、住宅設備用浴室TV等が好調に推移しました。しかしながら量販店を中心とする家電市場向け販売が前年を大きく下回り、前期比で増収を確保するものの当初計画より減少する見込みです。

営業利益については、円安傾向の継続による輸入製品の大幅な原価上昇に対して、為替予約によるヘッジ効果に加え、営業ポートフォリオの見直し、新商品投入による販売価格の改定、国内製造比率の拡大、製造原価低減等により前期比大幅な利益改善したものの計画には及びませんでした。

経常利益については、前連結会計期間においてUSD資産に対する為替差益が発生したのに対し、当連結会計期間においては為替差損が発生したため計画を下回りました。

以上